

**学校名** 嵐山町立菅谷中学校  
**所在地** 比企郡嵐山町菅谷649  
**電話** 0493-62-2055

## 1 本校の概要

小学校が隣接しており、ほぼすべての児童がそのまま中学校に入学する。そのため、すでに人間関係等が出来上がっている状態でもある。そんな中、「自ら考え判断し、正しい行動のできる生徒」を学校教育目標に掲げ、生徒の主体性をさらに伸ばすための取組を行っている。また、昨年度蔵書管理をデジタル化した。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

読書習慣を確立するために、まずは学校図書館に足を運んでもらう手立てを取り、学校内外とのつながりを生むことで活動の活性化を図った。

#### ア ポイントカードの作成

本を借りるごとにポイントが付くカードを作成した。このポイントをためることでしおりや図書委員会オリジナルグッズと交換することができるようにした。



#### イ 図書委員会以外との連携

学校図書館だけで活動するには限界がある。そこで、さまざまな委員会と連携し、活動の活性化を図った。放送委員会とは昼放送でコラボし、上記のポイントを集めることで曲をリクエストできるようにした。福祉委員会ではボランティアカードを活用しており、参加がポイントに換算できるようにした。学級委員会からは文房具の提供があり、これもポイントをためることで交換可能とした。



#### ウ キャンペーンや掲示物の活性化

毎月さまざまなキャンペーンを実施するとともに、学校図書館内外の掲示物を充実させた。



#### エ 小学校とのコラボ

図書整理員と協力し、作成したしおりを小学校に配布することで、読書に親しむ態度の育成につなげた。

#### オ 「読書王」の表彰

学期と年間で本を借りた数を個別に集計し、学年ごとに「読書王」として表彰した。

#### カ メモリアル冊数達成イベント

学校累計貸出冊数 1,000 冊、2,000 冊、3,000 冊を達成したときには図書委員会で大々的に祝った。



#### キ 図書委員以外の協力

しおりやアイロンビーズの作成などには、細かな作業が得意な生徒や特別支援学級にも協力してもらった。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

生徒数 203 人ながら 12 月末の段階で学校累計貸出冊数 3,000 冊を突破することができた。積極的に学校図書館に足を運ぶ生徒が増えた。

### (2) 課題

生徒が主体となって継続的に行える活動を確立していくことが求められる。

### (3) おわりに

現状に満足せず、今後も生徒が生き生きとした表情で来室できる環境を整えていく。